

令和7年度医療等分野における雇用仲介事業に関するアンケート調査のまとめ

求人者向け調査

- 職業紹介事業者を利用する理由：HW等の他の採用経路では人材確保できなかった、迅速な求職者の確保、確実な紹介 等
※前回調査（R1（医療・介護）R2（保育））と比較して大きな傾向の変化はなかった。
- 職業紹介事業者を利用した際の課題：早期離職、採用後に判明したミスマッチ 等 ※前回調査と比較して大きな傾向の変化はなかった。
- 6か月以内の早期離職率：医師5.88%、看護師・准看護師14.38%、介護職員（介護福祉士資格あり18.86%、資格なし16.67%）、保育士・保育教諭18.01%
※前回調査：医師19.0%、看護師・准看護師23.1%、介護職員38.5%、保育士・保育教諭22.1%と、いずれの職種でも前回調査より改善。
- 早期離職時に返戻金を受け取った割合：医療分野84.9%、介護分野82.6%、保育分野86.3%
※前回調査：医療分野87.2%、介護分野68.0%、保育分野61.0%。今回、介護、保育分野は増。
- 職業紹介事業者への満足度：医療等分野の満足度平均点は2.5点前後であり、情報通信や小売の他分野（3～3.2点）と比較して低い。
※選択肢を「満足」= 5点、「やや満足」= 4点、「どちらでもない」= 3点、「やや不満」= 2点、「不満」= 1点でスコア化
- 料金の負担感：医療等分野の求人者の約7割が料金の負担感を強く感じており、他分野（約3割）と比較して高い。

就職者向け調査

- 職業紹介事業者を利用する理由：スマホによる利用の手軽さ、求人情報のリサーチ、労働条件の交渉を任せられること 等
- 前職の主な離職理由：職場の人間関係、仕事内容への不満、勤務時間の長さ、給与への不満、休暇の取りづらさ 等
※いずれも前回調査と比較して大きな傾向の変化はなかった。

雇用仲介事業者（職業紹介事業者・募集情報等提供事業者）向け調査

- 手数料率（中央値）：医師20%、看護師・准看護師20%、介護職員20%、保育士・保育教諭25%
- 同一職種で異なる手数料を用いる場合があると回答した事業者は約7割、主な理由としては求職者に求める専門性の高さ、求人者の優先度の高さ、地域における求職者の少なさといったものが多い。
- 職業紹介事業者はHWと比べた場合にミスマッチの少なさや紹介する求職者の能力の高さ、紹介の確実性をメリットと考えている。
- 「迅速な求職者の確保」をHWと比べた自身のメリットと考えている職業紹介事業者は、そうでない事業者と比べて早期（1カ月未満）の採用内定が多い傾向にある。